

市報

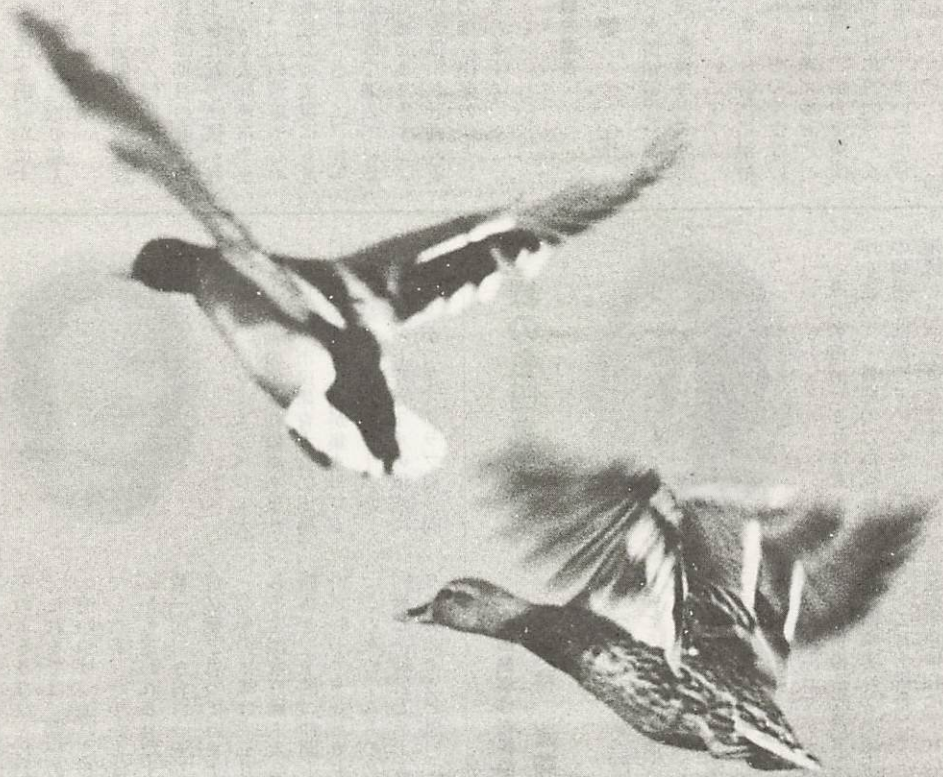
# やまぐち

No. 779

昭和55年

1月1日

## 賀正



'80年代に  
はばたけ



山口市章

# 伸ばそう明日へ市民が築く山口市

## 八十年代を描く



山口市長  
堀 泰夫

だれもが新たな感慨と決意をもって迎える新年。昨年、就任したり、意義ある仕事をした会の人など十二人に新しい年の抱負をうかがいました。

また、市広報広聴モニターさん十六人に、各地区から二十歳代の若い世代と、六十歳以上のお年寄りの人に「ひとこと昭和五十五年に」を取材していただきました。

昨年は市制五十周年の意義ある年で、今年が市制百年に向けての第一歩を踏み出す年です。その出発にふさわしいように、市の発展の方向を定める基本構想をたて、市議会の同意を得て市民にお示ししたいと思えます。この基本構想は、市の望ましい八十年代を描き、それに到

着する手順と方法を明らかにするため、昨年から鋭意取り組んでいるものであります。この構想は、道路や学校施設といったようなモノだけでなく、まらず、市長第二期目の就任の際にかかげました私の所信「緑ゆたかな伸びゆく人間都市やまぐち」のため、よい環境や心のふれあう地域社会の実現にも意を注いでいます。さらに、今年が山口・防府地区で進めている定住圏計画もまともります。これら八十年代を描いた計画の実現に向け、力強い出発の年としたいと考えています。

## 重責、肝に銘じ



山口市議会議員  
中野 正

昨年、栄誉ある県都山口市議会の三十代議長に就任、その重責をひしひしと感じています。

市議会によせられた市民の要望も、行政機構の改革、教育施設の整備、市営バスの健全化、

市議会も、市、市民とともに初心にかえり、住みよい都市造りに邁進いたしますので、市民の指導をお願いいたします。

## 追われる身



バレー鴻南クラブ主将  
田中 満子(大歳)

そのよろこびひとしおでした。これまでは、県一のチームを「追いつけ、追いこせ」が目標でしたが、今年からは、他チームから追われる身です。クラブ員一同、なおいっそうの厳しさが必要と思っています。

昨秋の、県ママさんバレー大会で大接戦の末、初優勝を果たしました。市民体育大会に出場した鴻南地区代表が集まって五年前に結成したわがチームが、家庭婦人バレーボールの頂点に立つことができ、クラブ員一同

このため十六人のクラブ員一同、厳しい練習とチームの和づくりに努めようと思っています。

## 緑の名田島実現へ



名田島裏作振興協議会長  
大林 清美(名田島)

「緑の名田島」これは表・裏作を含めて、耕地の二百割以上の利用をはかっているところとする地区のスローガンです。

昨年、一昨年と、排水路のしゅんせつ、暗きよ排水など土地改良事業の成果で、麦作は五十四年産が八千五百俵と五十二年

に比べ八倍も伸び、農業でやっていこうとする気概が見られ、農業後継者にも明るさが戻ってきたことは非常に心強いです。こうした気運の中で、今年、特に、土づくりとして、地区内で進められている湛水防除事業、新構造改善事業や県営圃場整備事業の早期完成をめざし、これと併行して、専業農家の若手を中心にプロジェクトチームを編成し、土地と需要にあった特定作目の産地化に取り組み、減反にも耐えうる農業を切り開いていく考えです。

## ひとこと

昭和五十五年に

▽藤本 頼雄 (2) 仁保

のちの人にのこしてよろこばれる農業の土づくりと、しくみを話し合い、考えてみたい。

▽松田 安子 (2) 仁保

マイベースで農業に取り組み、花卉栽培をしたい。また協力性のある明るい家庭の実現に努めたい。

▽平田 一枝 (5) 小鯖

世代の転換をひとしお感ずる昨今。いたずらに老人福祉に甘えることなく、一社会人として生きていく覚悟。

▽米本 文明 (2) 小鯖

ふるさとの発展に夢をたくし、過去はふりかえらず、前へ、前へと走りつづけていきます。

▽倉住 宗之 (3) 大内

自分ばかりの暮しをこのへんで考えなおし、正しい生き方とはの課題にとり組んでいきたいと願っている。

▽松村美智留 (2) 大内

音楽の好きな子供たちといっしょに音楽の楽しさを少しでも多く見つけていきたい。

▽河村 勝子 (7) 宮野

今年も書道を通じて、小学生の子供たちと心の交流を計りたい。

▽田中 弘 (2) 宮野

就職して四年、ソフトばか

# 小さい目標に期する

# でっかい 新しい年



市の花 キク

でっかい目標、小さな目標、それぞれに、大きな価値があるものでしょう。これら一人ひとりの目標が実現し、その過程と結果から、山口市民の連帯が生まれ、これがまちづくりの活力ともなれば「ふるさと山口」は、確実に大きく前進することでしょう。

五頁に紹介するように、その器づくりも、着実に進んでいます。

## 歴史を訪ね



山口文化バスの会会長  
永久 鉄哉(古熊)

一昨年三月、歴史と文化財を探索し、正しく理解しようという会が発足、すでに十二回の例会を重ねました。探訪地にかかる克明な資料を複製し、講師の現地での説明を受けるバス旅行ですが、発足以来、定員割れは一度

もなく、満員盛況の状態。市民の要求の強さを改めて知らされ、責任の重さを感じます。まだまだ、県内には専門家が外目にふれない歴史の足跡がたくさんあり、今年も探訪の旅が続きます。それと同時に足元の山口に關係のある地にも是をのぼします。こんな地道な積み重ねを続け、その中から何かが出てくることを期待しています。なお、近くこれまでの探訪に使った資料を一冊にまとめて、グループ旅行などのガイドブックとしたいと思います。

## 歌声で明るい社会



女声合唱花泉会指導者  
宮崎 清子(白石)

混声合唱団「泉会」が発足してから三十五年、女声合唱団「花泉会」は二十一年になります。花泉会は昨年二十周年の記念リサイタルをやりました。さらに、県教育委員会から表彰を受けましたが、片すみでやっていることが認められ、うれしい

ことです。私も花泉会の二十周年を区切りにして、年齢的にも体力的にも今後はゆっくりと考えていましたが、賞をいただいたことはもうひとふんばり頑張れということと思つて、さらに心にこの発表会の開催をめざして、一曲一曲を積み重ねていきたいと思つています。花泉会の会員は、家庭の主婦の集りですが、お母さんの歌はそれぞれの家庭を明るくものにすることでしょう。今年も合唱を通じて、明るく楽しい社会ができることを望みます。

## 郷土の思いに



ミュージックサイレン設置の推進役  
伊東 螢子(佐山)

十二月下旬から、佐山の地には、毎日二回ミュージックサイレンが響きわたります。佐山の各団体が結集し、自前の拠金によって実現したものです。特に生活学校、婦人会が中心となり、三年前からこのために始めた生活学校の再生品回収の基金も役立っています。

このミュージックサイレンには子供達に、ふるさと佐山への思いと家庭内の対話のきっかけにして欲しい、そしてまた、地区内の人達に、佐山を、山口市を振りかえる契機にして欲しい、との願いがこめられています。実現の意義は、いたずらに行政や男性に依存するという喜びも大きいのです。サイレン設置の一事で生れた地区内の推進力をいつまでも大切に、チャイムで拡がる波紋を大切に育てたいと思ひます。

## 商店街づくり



道場門前商店街組合理事長  
新山 滋人(道場門前)

十二月、黄金町にオープンした七百七十台収容の大駐車場は道場門前商店街が、県都山口の商店街の将来を展望し、その事業のひとつとして建設したものです。

今年も、各商店街と提携し、営業時間の延長、商品の高度化、接客態度の向上など、お客様の要求に答えると同時に、楽しい買物ができる商店街づくりに全力投球をします。また、道場門前を中心に、憩いの広場などを備えた新しい型のショッピングセンターの建設に取り組み、近隣市町村の人たちをも引きつける、魅力ある商店街づくりの実現を目指し、意欲的にとりくみます。

# 受け継ぐ自然と歴史と人の和を

りに熱中しないで、今年は結婚を考え、早く両親を安心させたい。

▽三隅 竹雄 (72) 大殿

この道(菓子作り)一筋に五十年、これからもさらによろこばれる菓子を作っていきたい。

▽藤井 洋子 (22) 大殿

看護婦として多くの患者さんに接するので、学びたいことがいっぱい。今年は手話を身につけたい。

▽宮原 ハナ子 (71) 白石

一日一日、健康で悔いのない日が過ごせ、そのうえ、人様のお役に立てたらと願っています。

▽高村 憲昌 (24) 白石

Uター二二年目の年男。大型駐車場も誕生、学都プラス商都を支える一員として頑張りたい。

▽平川 陸士 (60) 湯田

法華経の真髓を究めることと、時勢と地域に即した民生委員の在り方をまとめてみたい。

▽福田 愛子 (21) 湯田

教育実習、教員採用試験、卒論と多忙覚悟の一年、若さとガッツで、常に前向きに歩いていきたい。

▽佐谷 穰 (76) 吉敷

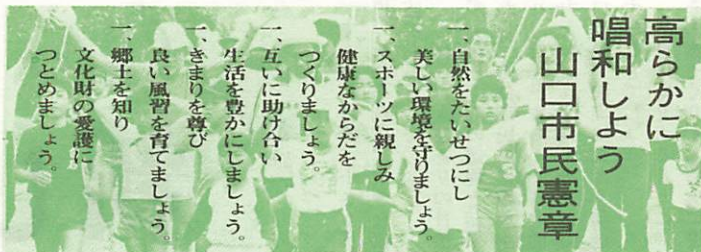
憲章館が生んだ偉人は吉敷の誇り。この後継者育成のため話し合いの場を持ちたい。

▽藤井久美子 (28) 吉敷

グループ活動や行事に参加し、自分を見直したい。また念願の北海道旅行をぜひ実現したい。



市の花木 キンモクセイ



市の木 イチヨウ

# 伸ばそう山口郷土の発展みんなの手で

## 人間性の伸長

山口文化協会会長

竹原 哲夫(糸米)



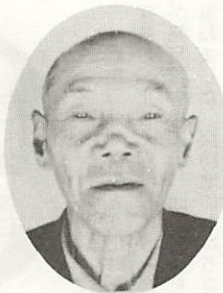
ばなりません。物の豊かさだけを求めつつけても本当の幸福は得られず、やはり心の豊かさ、人間性豊かな社会をつくるのが大切であると考えられるようになると思います。

今年には八十年代の節をむかえることになり。過去の七十年代は、人びとは物質的な豊かさを求めてきましたが、八十年代には人びとは心の豊かさを求める時代となるでしょう。つまり今年はその精神的な文明を求める時代の幕明けの年とならね

## 誇りを伝承

陶腰輪踊保存会会長

宮崎 恒一(陶)



腰輪踊は子供十二人、大人四人が豊作祈願をする、素朴で単純な踊りで、すぐに覚えられます。子供も大人もいまは、伝承者がしっかりしていますが、次代のことを考えて、次の後継者も今から育成に努めたいと思います。

四百年前から陶八雲神社に伝わる県指定無形民俗文化財腰輪踊は、これを保存し伝承している陶郷上地区のみんなの誇りです。昨秋は、芸術文化功労として市表彰を受ける光栄に浴しました。

衣裳や鐘などの道具も年々新調していますが、何しろ高価なものなので思うようにいかないのが現状ですが、郷土の誇りをしっかりと伝承する気持ちを持ちつつつづけたいと思います。

## 敏しよう性の回復

大股老連交通安全会会長

山本 市郎(古熊)



交通安全を研習しよう」とこんな辞書にもない言葉を規約にかかげ、老人の交通安全会が発足し七か月経過しました。よく老人のいう「わかちちよる」とはうらはらに、事故の恐ろしさを知らない老人特有のくせが、

交通安全を研習しよう」とこんな辞書にもない言葉を規約にかかげ、老人の交通安全会が発足し七か月経過しました。よく老人のいう「わかちちよる」とはうらはらに、事故の恐ろしさを知らない老人特有のくせが、

## 食物をみつめて

山口の環境を考える会世話人

林 洋子(香山町)



着し、外観はきれいなため、市民には安心感が強いものの、水質など目に見えない面で安心はできない、という問題意識を持つようになりました。

人が住むためにはどんな環境がよいか考えてみたい、こんな動機から、昨年二月会員四十人で会が発足、これまで八回の例会で「川」をテーマに研さんを重ねてきました。現地探訪、市民アンケートなどを行った中で

今年のは「食べもの」生活学校などの先輩たちに教わりながら、いい食べものをつくる土、水といった、基本的な問題をみつめ研究してみます。その中から、一人でも多くの人たちと、次の世代にどのような環境を残しておくことがよいかを改めて見直してみたいと思っています。

# 昭和五十五年に

▽藤井 緑水 (70) 大歳

清濁混流の世相は常ですが濁が今は多すぎる。まず、自分が身を正す、このことを実行したい。

▽荻原 令子 (82) 大歳

勉強中のエレクトーンをマスターして、素晴らしい演奏をしてみたい。

▽松永 忠行 (88) 平川

ひとりひとりの思いやりの心を基底として地域ぐるみの福祉社会が実現できるよう、頑張りたい。

▽小野村 悟 (88) 平川

平川の地に青年団の火を絶さぬよう仲間をふやし、地域社会の活動に、少しでも役立ちたい。

▽岩本 照子 (84) 陶

二十年間とりくんだ里親のつとめも一応終わる年、悔の残らぬよう、愛情をもってやりとげたい。

▽吉武 洋二 (88) 陶

錦鯉の質の向上と金魚生産の拡大の実現。母豚二十頭の一貫生産の実現を目指す目標をかかげる。

▽杉山 實三 (82) 鏝銭司

米・麦・大豆の三作に一俵あて増収を目指したい。また読書を絶えず、健康保持の生活に努めたい。

▽末廣 啓二 (84) 鏝銭司

社会の流れ、そして月日の

# 進行中の事業を拾う

今年は一九八〇年代の幕あけ、そしてまた、昨年の市制施行五十周年を契機として、さらに百年に向って住みよいまちづくりに出発する年です。

こんな新たな出発にふさわしいように、市域の内外では、新しいまちづくりのための数多くの事業がすずめられ、その建設のつち音は、新時代に対応する力強い響きにもきこえます。市・県の事業を中心に、着々とすすめられている事業のいくつかを紹介しましょう。

## 都市機能の充実

(山口バイパス・流通センター)

現在、幹線道路網の整備が進められていますが、国道九号山口バイパスも鴻南中裏―県庁間は昭和五十六年度末頃、また国道二六二号大内―宮野間バイパスは五十七年度から供用開始される予定です。そのほか、中

在、山口駅―県庁間で行われている都市計画街路事業も昭和五十五年中には、ほぼ完成する見込みです。

## 生活環境づくり

(公共下水道・し尿処理場)

昭和四十八年来、旧市内を中心に、公共下水道建設事業が進められていますが、五十七年度には、湯田地区約百軒が供用開始される予定です。また、山口市、小郡町、秋穂町、阿東町の一市三町で組織し

ては完成の予定です。また、老朽公民館については、年次計画により、逐次、出張所と併設した公民館に改築され、地域活動の拠点として拡充整備される計画です。



市民の総合運動場として完成が待たれる工事中の市民運動広場

# 八十年代の幕明け 進むまちの施設づくり

国自動車道山口―鹿野間は、今年十月には開通予定です、

平川―中国自動車道に通じる山陽自動車道や

国道二号四辻拡幅も六十年度を目途に完成の見込みです。また、小郡町と大歳にまたがって建設される

春日町に建設されている歴史民俗資料館。来春にはオープン。

県流通センターも、五十七年度から供用開始の予定です。そのほか、現

在、建設が進められている嘉川公民館・出張所、鑄銭司公民館・出張所は、今年三月末ま

## コミュニティ拠点の改築

(鑄銭司・嘉川公民館)

更に、水道水源については、大内殿河内に建設中の第五水源は五十七年四月に完成予定、五十六年に一部供用開始で、一の坂治水ダムは五十七年度に、また、荒谷ダムも六十年度には完成が見込んでいます。

## 体育・文化施設の開設

(市民運動広場・資料館)

現在、建設中の大内の市民運動広場は、今年中には、ほぼ完成され、嘉川にも、五十五年度を目途に市民運動広場が建設される予定です。また、学校施設開放による夜間照明施設も五十五年以降、逐次年次計画により整備されます。

また、春日町に建設されている歴史民俗資料館は、五十五年三月には竣工し、五十六年四月には開館します。加えて今年三月末までに、大内弘世公の銅像が香山公園内に、また、毛利敬

親公の銅像が香山公園内に建立されます。

そのほか、維新公園のスポーツ・レクリエーションセンターや、春日山・龜山一帯の文化ゾーンに諸施設が整備される計画が進められており、県理蔵文化財調査センターは、今年八月末には完成の予定です。

## 福祉・教育施設の整備

(海浜センター・養護学校)

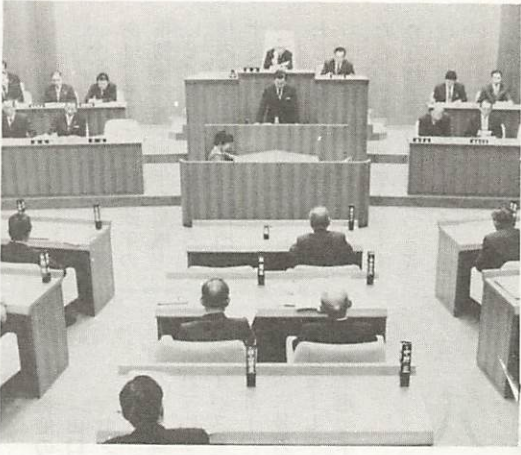
秋穂二島に建設を予定している潮湯をとり入れた老人憩の家は、このほど、用地も決まり、今年中には着工されます。また、この老人憩の家周辺は、将来、海浜センターとして、諸施設が整備される計画です。また、平川に建設中の山口大学附属養護学校は、今年三月に完成します。

そのほか学校施設では、宮野小の九教室、大歳小の十一教室・管理部、陶小の四教室、吉敷幼稚園の全面改築が、今年三月末までには完成します。

- ▽赤松 重浩 (名田島) 今年は年男、猿のようにとびまわり、仕事に、生活にと充実を期しています。
- ▽吉松 敏男 (秋穂二島) 秋の叙動受章。「貴重な体験を生かし、社会のため貢献するように」との天皇陛下のお言葉を至上の目標とした。
- ▽村中 修 (秋穂二島) 昨年は迷うこと多く、結局何もできなかった。目標を一つにしぼり、一步一步確実に前進したい。
- ▽清水 正人 (嘉川) 減反転作を進めるためには耕地の用排水整備は必須条件。今年はこの課題を進めてみようと考えている。
- ▽大田 修 (嘉川) 広く大きな海、青く澄みきった空のような気持ちで、八十年代を出発したい。
- ▽伊藤 むめ (佐山) 健康で、読書、詩吟、皮材工の三つのグループの仲間と楽しく研さんをつんでいきたい。
- ▽魚永 正信 (佐山) 佐山地区の祭りを研究し、その中から、地区の名産「大根だから」「大根だいこ」のような郷土芸能をつくりたい。

# 補正予算など可決 十二月市議会終わる

十二月四日開会した市議会定例会は、十八日に本会議を再開、十一日に可決した教育委員の選任など三議案を除く提出十三議案と、最終日提案された職員の給与改定議案などの討論採決を行い、原案どおり可決、全日程を終わりました。今議会で決まった主なことは、次のとおりです。



市議会本会議場は、中央の一段高いところに議長席、その下が発言者席、その席を中心に扇状に議員席が配置されています。

一般会計予算  
二億七千三百七十余万円追加

市庁舎の前庭整備工事費、救急医療対策費、水田利用再編対策事業費、下水道事業会計への繰出金、職員給与の改定などの歳出に二億七千三百七十余万円を追加し、予算総額は、百七十二億二千五百二十万円となりました。

市休日夜間急病診療所の設置が決まる

二月から、県薬剤師会館内にその設置が決まりました。

なお、この詳細は、次号でお知らせします。

職員給与の改定、平均三七・七三割引き上げ

国家公務員の一般職員の給与改定にともない市職員の給与を四月一日現在で平均三七・七三割引き上げる条例の一部改正が行われました。

市営バス  
運賃を改定

市営バスの乗合運賃、貸切運賃を改定することが決まりました。詳細は別稿のとおりです。

教育委員に  
杉山實三氏

十二月十七日任期満了の村田潔委員の後任に、杉山實三氏を任命することが決まりました。

杉山委員は、六十二歳、銚銭司、吉山農業共済組合理事、市農業協同組合監事。

公平委員に丘幾司氏  
和田克己委員を再任

平川可也委員の辞任にともなう就任に、丘幾司氏(59・中河原町・医師)の就任が決まりました。

また、任期満了の和田克己委員は再任されました。

固定資産評価審査委員  
五人の選任が決まる

任期満了となる固定資産評価審査委員に、次の五人が決まりました。(敬称略)

- 岡本利男(68・仁保・新任)
- 小田博三(60・春日町・再任)
- 釜谷信義(71・吉敷・再任)
- 西村正(76・平川・再任)
- 中村忠久(60・大歳・新任)

## 市営バス、運賃を改定 平均17%引き上げ 実施は1月10日から

このたび、県下一円の乗合バス運賃の改定にともない、山口市営バスでも一月十日から運賃を改定します。その主な内容は、基本貸率一割当たり現行二十一円五十銭を二十五円とし、最低運賃百円を百二十円(ただし、五

十五年九月三十日まで(百円)とするもので、平均アップ率は、十七割です。主な区間の新旧運賃表は次のとおりとなります。なお、運賃改定にともなう定期券、回数券の取扱いは、次のとおりです。

おもな区間の新旧別運賃

行先	山		市民会館前		湯田温泉	
	旧	新	旧	新	旧	新
大柳	190	220	150	170	110	120
井野	300	340	260	300	220	250
郡野	350	400	310	360	260	300
小宮	120	140	120	140	160	190
新宮	170	190	170	190	210	240
野路	280	320	280	320	320	370
大内	340	390	340	390	380	440
平野	210	240	170	190	120	140
西川	250	290	210	250	170	200
平野	160	190	120	140	70	90
西川	220	260	180	210	140	160
西川	280	320	240	280	200	230
西川	140	170	100	120	100	120
西川	110	130	100	120	110	120
西川	160	190	160	190	200	240
西川	470	540	430	490	390	450
西川	550	610	490	560	450	520
西川	600	690	550	640	550	610

(注) ・印……昭和55年9月30日までは110円

### 成人おめでとう 式に参加しよう

昭和五十五年山口市成人式を次のとおり行います。新成人該当者は、そろってご出席ください。

- 。とき 一月十五日午前十時二十分から
- 。ところ 市民会館大ホール
- 。主催 山口市、市教委
- 。式次第 市長あいさつ、先

### 十四日に 無料法律相談

。日時 一月十四日午後一時三十分から四時まで。受付は午後一時から三時まで。

。場所 市中央公民館

# 入園児を募集します

## 申請書の配布十日から

四月から保育園に入園を希望される乳幼児の申請書の受付を次のとおり行います。

入園できる乳幼児は：  
母親が日常家事以外の仕事を

もっていたり、母親や親族などが病気などで家庭で保育できない家庭で、その場合でも同居・別居を問わず、他の人で乳幼児の保育ができる場合は除かれます。

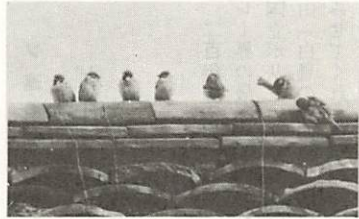
### 保育園

年齢は：

▽山口(旭通り一丁目)・〇歳児以上)▽東山(東山二丁目)・〇歳児以上)▽大内(矢田・一歳児以上)▽陶(丸尾・〇歳児以上)▽楠木(楠木町・二歳児以上)▽三の宮(芝崎町・

一歳児以上)▽山口第二(三和町・〇歳から二歳児まで)▽嘉川(岡屋・二歳児以上)▽嘉川隣保館(免地・三歳児以上)▽佐山(小路・三歳児以上)▽乳児(大手町・〇歳から二歳児まで)▽湯田(今井町・〇歳児以上)▽平川(公台・〇歳から三歳児まで)申請書の配布は：一月十日から市役所福祉課でお渡します。申請書の受付は：一月二十八日から三十一日まで市役所内市民ホール(本庁舎東側)で午前九時から午後四時まで。

なお、陶、嘉川、嘉川隣保館、佐山保育園は、前記の期間内に、各園で申請書の配布、受付を行います。昨年、入園手続きをし、入園できなかつた人も新たに手続きが必要です。



はずとび下りて弾みやまざや寒雀一茅舎一

新年おめでとうございます。新年は人の心を一新する契機です。“1年の計は元旦にあり”といわれるように、将来を考え、新しい年の生活計画をたて、希望に満ちた出発点としましょう。

### 1月のこよみ

元旦 1日。市内の各神社では、初詣でにぎわい、恒例の新春登山も、鴻の峰・陶が岳で行われ、山頂で初日を迎えます。

消防出初式 8日。市では市民会館で式を行った後、11時から平川の河川公園で、分列行進観覧式、手押しポンプによる鈴割り競技などが行われます。

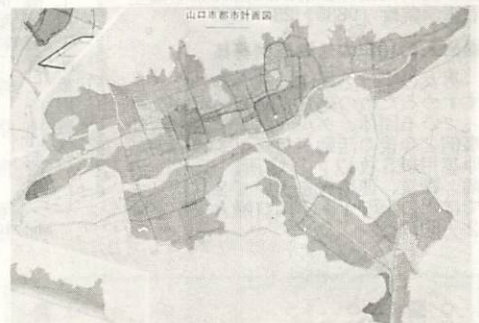
成人の日 15日。市では10時20分から市民会館で1,870人の新成人者を対象に、成人式が挙行されます。また、午後2時から市民ロードレースも行われます。

文化財防火デー 26日。文化財を火災から守ろうという趣旨で設けられた日で、今年は「今八幡宮」で防火演習が行われる予定です。

市駅伝大会 27日。市民会館から仁保を回わり、大内県農業試験場までの7区23.6キロで競われる大会です。出発は、正午。参加チームも年々増え、昨年は80余チームが出場しています。ふるって参加しましょう。

- ・4日 公務始め
- ・6日 小寒
- ・7日 七草
- ・21日 大寒

### 山口市都市計画図



8種類に色分けされた市都市計画図。市役所都市計画課に備え付けられています。

### 都市計画の用途地域

#### 建築に制限があります

都市計画の用途地域は住宅・商業・工業などの地域にわかれ建物の制限があり、のぞましいまの形成を目指しています。特に、住居系の地域では、工場の建築は、厳しい制限をうけますから、用地の取得の際は、用途地域の種類を確かめる必要があります。また、市役所都市計画課へ相談されることをおすすめします。

### 青少年の主張 作文を募集

山口市青少年育成市民会議では、市内の小・中・高校生から、その主張の作文を募集冊子としてまとめることになりました。

内容 小学生「おとなになったら」四百字詰原稿用紙三枚ぐらい、中学生「私の尊敬する人」同五枚ぐらい高校生「社会に望むこと」同五枚ぐらい。

応募 原稿の余白に、氏名、学校名、学年、住所をかい、一月三十一日までに亀山町二一市教委社会教育課内市青少年育成市民会議作文募集係へ。

#### ふるって参加ください

##### ロードレース

日時 一月十五日午後一時三十分から開会式、二時から順次スタート。

場所 県陸上競技場玄関前で開会式、吉敷折り返しコース。

種目 一般(五キロと十キロ) 壮年男子三十、四十、五十歳代(二キロ) 女子(三キロ) 中学校(五キロ) 小学五・六年(二キロ) 小学生の参加は父兄同伴者に限る。

申し込み 一月十日までに、年齢、住所、種目、勤務先または学校名を記入し、亀山町二一市教委体育課へ。

##### 市駅伝

日時 一月二十七日午前十時三十分開会式、正午スタート。

場所 市民会館広場で開会式。コースは、市民会館四・六キロ宮野中三・一キロ旧ビラプリンス前二・〇キロ県林業センター前三・九

種目 地域、職域(一部) 二部) 学生(大学・高校) 申し込み 所定の申込書で一月二十一日までに市教委体育課へ。

### 市民ロードレース大会

### 市駅伝競走大会

不燃物の収集日

出張所地区

- 1月 嘉川8日、佐山・秋穂二島9日、陶・鑄銭司11日、名田島12日、平川17日、大内22日、小鱈23日、吉敷25日、大歳28日、仁保29日、宮野30日
2月 嘉川1日、名田島2日、佐山4日、陶・鑄銭司5日、秋穂二島6日

県立山口図書館月間資料展 「ふるさとの教育者」

明治・大正期の県内の代表的教育者の著書、伝記など関係資料50冊を1月5日から30日まで同館2階に展示。

珠算能力検定試験

2月10日午前9時から山口高校で。受験資格は制限なし。希望者は1月22日までに中央4丁目山口商工会議所(電話⑥-2300)へ申し込みのこと。

県立衛生看護学院生徒募集

保健婦、助産婦、看護婦(1・2部)の4科。受験願書の受付は、保健婦・助産婦科が1月10日から25日まで、看護婦科が31日まで。受験資格、試験日、内容などの詳細は、防府市西佐波42436山口県立衛生看護学院電(0835)23-1920へ。

婦人の10年の活動事例募集

男女の平等と婦人の社会参加などをすすめるための調査、研究、実践を行っている団体、グループ、個人の活動事例と今後の活動がテーマ。400字原稿用紙5枚以内。住所、氏名、年齢、職業、連絡先を書いて2月15日までに水の上町1-7山口婦人少年室電2-8017へ。



優雅で気品十分といわれるポリショイバレエ「白鳥の湖」の一場面

償却資産を持つている人は、毎年、一月一日現在の償却資産について、一月三十一日までに市に申告をしなければなりません。償却資産とは、土地・家屋以外の事業用に使われる次のようなものです。構築物：煙、塔、門、看板 機械装置：各種装置用・加工用・産業用機械

一月は申告月です

事業用の償却資産

- 車両・運搬具：構内運搬車・特殊自動車(フォークリフト)
船舶：ボート
工具器具・備品：クーラ、ステレオ、テレビ
くわしいことは、市役所課税課へ問い合わせください。

- 開講 一月十一日午後六時
期間 一月十一日から二月二十八日までの毎週金曜日
午後六時から八時まで
会場 市福祉センター
主催 山口手話友の会
希望の人は当日会場へおいでください。

市民手話講習会

年末年始の給油所の営業

1・2日休業です

12月30日の日曜日は特別営業、31日営業、1月1日祝日休業、2日は30日の振替休業で、3日から平常営業。

河口に放置の廃船 処分します

秋穂二島・南若川左岸新栄橋の下流150m、嘉川干見折川左岸百間小橋下流70m、同じく300mに廃船が放置され、周囲の景観をそこなうのみならず、船の航行の障害になっています。

廃船に心当たりの人は、1月31日までに処分願います。もし、期日までに放置してある場合は、山口土木事務所へ処分します。

献血車が巡回します

1月4日佐山公民館、4日市役所内市民ホール、5日・7日・9日県庁職員会館、いずれも午前9時から正午まで、献血車が巡回します。新春献血にご協力ください。

防府港の潮汐表

おわけします

山口測候所は、昭和55年の「防府港潮汐表」の小冊子を発行し、希望者におわけしています。

代金は一冊100円、送料一冊60円(2・3冊140円・切手代用可)をそえて、山口市周布町2-1山口測候所へ。

市児童文化センター講座 楽焼・科学教室

- 親子楽焼講座
日時 一月二十日・二月十七日
七時いづれも午前九時三十分から十一時三十分まで
対象 小学生とその父母二十人
内容 模型飛行機の作成
十組
講師 中川猪太郎先生
会費 一組五百円
科学教室
日時 一月二十六日午後三時
講師 吉岡 晟先生
会費 四百円
申し込み、市児童文化センター電二四二八五へ。定員になり次第締め切り。

Table with 4 columns: 外科系, 内科系, 外科系, 内科系. Rows list hospital names and phone numbers for various departments.

診療時間は8時30分から17時30分まで

歯科は県口腔センター吉敷下東(電3-1820)へ、9時~15時。